



季節の花 クリスマスローズ
花言葉 「大切な人」

おかやま民医連

発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町 1-53

岡山県民会館 3F

TEL (086) 214-3911

2021年2月号 No.349

E-mail: kikanshi@okayama-min-iren.org

URL: http://www.okayama-min-iren.org



リモートで各事業所から40名が参加しました

また、参加者の多くがハンセン病問題は知っていたが、長島愛生園を訪れたことがないと回答し、「コロナが終息したら、ぜひ現地に行きたい」との感想もありました。

現在、ハンセン病療養所と療養所内の記録物を後世に残し人権を学ぶ地域の財産として世界遺産登録を目指す活動をしています。このような時期だからこそ人権問題に目を向け関心を持ち、学習する機会としてみてはいかがでしょうか。

青木 弘人
(玉島協同病院)



ハンセン病問題から人権について学ぶ

〜県連初期事務職員研修〜

1月13日の午後、県連内事業所の入職3年目までの事務職員を対象にした初期事務研修をZoomにて開催し、40名が参加されました。

前半は、長島愛生園学芸員の田村朋久さんの学習講演「人権が尊重される社会」として、コロナ禍における感染者や医療従事者に対する誹謗中傷の問題に対し、民医連職員として医療従事者としてどうあるべきかをWEBと対面でグループ討議しました。

後半は、長島愛生園学芸員の田村朋久さんの学習講演「人権が尊重される社会」として、コロナ禍における感染者や医療従事者に対する誹謗中傷の問題に対し、民医連職員として医療従事者としてどうあるべきかをWEBと対面でグループ討議しました。

また、参加者の多くがハンセン病問題は知っていたが、長島愛生園を訪れたことがないと回答し、「コロナが終息したら、ぜひ現地に行きたい」との感想もありました。

現在、ハンセン病療養所と療養所内の記録物を後世に残し人権を学ぶ地域の財産として世界遺産登録を目指す活動をしています。このような時期だからこそ人権問題に目を向け関心を持ち、学習する機会としてみてはいかがでしょうか。

青木 弘人
(玉島協同病院)



各会場で、3年目の職員に修了証書渡し

グループホームさつちゃん家は、昨年10月1日に新築移転オープンしました。白を基調とした建物は、大きな窓から日差しが燦爛と降り注ぎます。またグループホームの周りは田園風景が広がり、自然を隣で感じることが出来ます。



大きな窓が目立つ「新さつちゃん家」

さつちゃん家が完成しました。新さつちゃん家へ移り利用者は、「広くてよく歩いていける」「外国みたい」「外観も素敵」などとても喜んでおられます。それぞれが役割を持ち、自宅にいるような生活を送られています。



明るい日差しのもとくつろぐ利用者さん

さつちゃん家は、昨年10月1日に新築移転オープンしました。白を基調とした建物は、大きな窓から日差しが燦爛と降り注ぎます。またグループホームの周りは田園風景が広がり、自然を隣で感じることが出来ます。

中野 光子
(グループホームさつちゃん家)

新しくなった「さつちゃん家」

点滴

高校中退、韓国籍、未婚の母で大のロック好き。芥川賞作家の柳美里さん。昨年、1人のホームレス男性を描いた『JR上野駅公園口』が全米図書賞翻訳部門に選ばれ話題となった▼作品の構想にあたり、柳さんは上野公園のホームレスと話を歩き、そこに集うホームレスは出稼ぎや集団就職で上京してきた東北出身者が多いことを知った▼また、2011年の震災後は福島の仮設住宅を訪ねた。原発を誘致する以前は、一家の父親や息子が出稼ぎに行かなければ成り立たない貧しい家庭が多かったという話を何度も耳にしたという。「2つの痛苦を繋げる蝶番のような小説を書きたいという思い」がこの作品で結晶した▼6年ほど前から、柳さんは福島県に住みブックカフェを営んでいる。受賞の際には市役所に「祝・全米図書賞受賞！南相馬市在住柳美里さん」と甲子園に出場したかのような横断幕が掲げられ、近所の人が野菜を持ち寄りお祝いしてくれた。「震災が悲しくて辛いことばかりだったけれど、昨日はうれしげで泣いてしまった」と▼挫折してきたからこそ、人の心がわかる。「消え入りそうな声を受信するのが仕事」。そんな彼女にこれからも注目していきたい。(F)

断捨離中に...

コロナ感染で外出自粛が始まり自宅の片づけができた人が多いと思います。我が家も週末になると憑りつかれたように断捨離を行い、おかげで押入れや倉庫内までスッキリしました。しかしこの作業も本棚の前では急にペースダウン。捨てる気で手にした本を読み込んでしまい一向に片づかないのです。

最近、本棚で「戦争における人殺しの心理学」を見つけました。この本は同級生が自分の父から「戦争中に敵を撃つのも一つも弾があたらなかった」と告げられ、それをきっかけに読んだと紹介してくれました。著者は元米軍陸軍中佐。



アメリカ南北戦争で回収した銃を調べるとほとんどの兵士が敵を殺そうとしていないことが判明。これでは「効率」が悪いと人間性を壊す様々な訓練が開発されてきました。その様子は元海兵隊員のアレン・ネルソンさんがソワニエ看護学校でリアルに語ってくれました。彼は酷いPTSDに苦しみました。今はA I兵器が開発されています。話がそれましたが、本来の人間性を信じ顔を合わせた対話を大切にしたいですね。

林 英樹 (林道倫精神科神経科病院院長)

おせちボランティアに再挑戦



手分けして丁寧な盛り付けに

倉敷医療生協の年末の心優しい風物詩の一つは、おせちの調理から配達までを一手に担うおせちボランティアの取り組みです。毎年地域のひとり暮らしなど高齢者の方々から喜ばれている企画で、今回久々にお手伝いをしました。

調理係と盛り付け係のうち、私は盛り付け係をすることに。前日から調理されたものも合わせ16種類のおせちの盛り付けを、6人で77食分を担当しました。



鳥越 仁美 (水島協同病院)

おいしいおせちをどうぞ！

『もしも...』の時の人生会議

平井支部のけんこう講座で、ACPについて岡山協立病院の松葉樹梨先生にリモートで講演して頂きました。



ACPという言葉を知りた事がありますか？アドバンスケアプランニングが正式名称で別名「人生会議」とも言われます。将来のケア(治療、療養)について、患者さん、ご家族と医療従事者が事前に話し合うプロセスを指します。人生の最終段階において自分が受ける医療を意思表示している。家族がそれを受け入れられず本人の意思が治療に反映されないケースがあります。自分の思いを信頼できる家族、医療従事者に

うち2人は職員で、毎年のように参加してくれているそうです。さて、たくさんの数を短時間で手際よくおこなうには、なんととってもはじめてが肝心です。配膳の数を間違えないように、みんなである？ある？と確認しながら準備していきます。サンプルの飾り付け写真を参考に、大皿のつた料理を一個ずつ詰めていくのですが、途中煮物の数が足りないかも？というハプニングもありま

松葉先生の講演後、もしもバナカードゲームをしました。自分の余命が半年〜1年だとしたら一番大切にしたいことをカードの内容を整理していきま。皆さんの選んだカードは「機器につながっていない」「私が望む形で治療やケアをしてもらえる」などに反映されています。「家族の負担にならない」「家で最後

光田 忍 (岡山医療生協健康まちづくりセンター)



真剣にもしバナカードゲーム中

食いしん坊が行く！

〜テイクアウト編

今回は、岡山市東区にある、とんかつのお店「どんQ」をご紹介します。「どんQ」と言えば並木町にあるお店をご存じの方も多いためですが、その2号店になります。

2号店は社長と奥様で営業されています。社長は開店の半年程前にご病気をされましたが、厨房に立つという目標を持って、意欲的に



レディース弁当 1,180円

リハビリをされています。現在は厨房に立たれる事もあるそうです。「どんQ」の人気メニューは、とんかつ定食。お肉は柔らかく上質で、オリジナルのデミグラスソースは甘く優しい味わいです。ボリュームも満点です。お弁当も大人気。メインの他に卵焼き、きんぴらごぼうなど数品が日替わりでついており、栄養バランスもGOOD。私のおススメはレディース弁当です。ヒレかつにエビフライ、ハンバーグと盛りだくさんのお弁当になっています。

コロナ禍で外食も自粛モードが続いています。皆さんの食卓にどんQのお弁当はいかがでしょう。橋本 亜希子 (健生園デイサービス)

読者カードより

外出自粛生活の中で、他の方がどんな楽しみを見つけているかとても興味があります。特に「テイクアウト」は一番興味しんしんで毎回楽しみにしています。S.S(コープ西大寺診療所)

ランニング、我が家のペット、食いしん坊...と同じ民医連職員の業務外の姿が身近に感じられて少しほっこりしました。K・H (コープハビリテーション病院)

新年の抱負「笑」が一番多い点が興味深かった。コ

T・K(岡山ひだまりの里病院)